

四谷の

千枚田だより



第 31 号

伝承行事

伝承行事は、月日の経過や季節の変化に応じて、毎年、定められた行事が定められた順序で、同じ形が繰り返され、自ずから民俗生活が反映されています。日本の風土は、四季の区分が明らかで、農耕を基調としてきたため、季節に応じた農作物の予況、祈願、感謝などの信仰儀礼が柱となり、伝承的行事が行われてきました。これらも、社会経済などの時代環境により、昔から伝承されてきた民俗文化遺産が既にいくつかわ消え去り、また、いくつかわ消えなくなっています。そこで、現在、四谷の千枚田の集落、身平橋組で行われているいくつかわの伝承(年中)行事を記してみました。

- ▽秋葉講 松の内に廻り番で二名
- ▽お積迦様 旧四月八日、お寺で甘
- ▽お釈迦様 旧四月八日、お寺で甘
- ▽お彼岸 「春分の日」寺に集まり、百人の数珠を回し、南無阿弥陀仏を唱える。(回り信心ともいう)
- ▽子安様 (小山勝由氏宅入り口)彼岸の二十四日にお祭りをする。
- ▽弘法様 旧三月二十一日、薬師様、海源庵、小山浩二氏、小山廣一氏宅でお祭りされる。
- ▽お積迦様 旧四月八日、お寺で甘



でなれ
色ら
白配
黄カ
青たん
赤配
色草
配花

路の臺求めてゆけばささらぎの
千枚田を撮るカメラマンひとり
海老丁塚 後藤久子
近づけば草萌えるたり千枚田
蒲郡市 本多令佳

茶が配られる。
▽お節句 旧五月五日、病魔を防ぐため、屋根に菖蒲を飾る。無病息災を念じ菖蒲湯に入る。

- ▽行者様 庚申様に併せて奉る。
- ▽庚申様 かのえ申の日、廻り番。
- ▽山の講 旧二月七日、山を守っていた神が下りて田を守るといふ。
- ▽お積迦様 旧二月十五日、お寺で花草だんごが配られる。
- ▽お盆 十三日、お寺で念仏踊りを行う。(本尊様・愛宕様)、十四、十五日、初盆宅にて庭受けの念仏踊り。
- ▽堂施餓鬼 八月十六日、お寺にて和尚による先祖供養。
- ▽餓鬼送り 盆が終り、未明に若い衆により初盆の家から提灯を受け、「南無阿弥陀仏」を唱え鉦をならし村内を下り、川で提灯を焼き、納める。
- ▽オシロイ様の送り 八月十六日、茄子馬に供物を盛って近くの川で念仏を唱え、送る。
- ▽お彼岸 九月二十三日、お寺に集まる。春の彼岸と同様。
- ▽お祭り 十月上旬、海老神社の宵祭りに行う。

▽祇園 氏神様で祇園

山の神様で「おはたけ」を焼く



▽山の講 旧十月七日、春と同様、田の守りを終えた山の神が山へ帰ると云われる。

▽堂の門 閏年の庚申様の日、田の口では「湯伏せ」が行われる。このように私たちの身近では多くの伝承行事が行われています。これらの伝承行事をみますと、そのほとんどが感謝の気持ちで「お供え物」をし、そのお下がりをお願いするという事に気が付きます。一家の団らん地域との絆を大切に、利害に拘わらない清い心を思い起こしてくれるのが先人から受け繋がれて来たお祭り、この地に根付いた大きな民俗文化遺産でもあります。(舞)

奥三河芸能祭 飯田線沿線の伝統芸能披露

三月十二日(日)、奥三河や遠州、南信地域の伝統芸能などを紹介する第十九回「奥三河芸能祭」のメインイベント、第九回「三遠南信伝統フェスティバル」が新城文化会館ホールで行われ、鳳来を代表して身平橋の若い衆？十八名が「はねこみ」を披露しました。

「はねこみ」は室町時代から伝わる念仏踊りで、「跳ねて踊る」ことからその名があり、高張り提灯を先頭に笛、鉦、太鼓を奏で、室町小唄の踊りを偲ばせる道行きで初盆の家まで厳かに行列し、門(家の庭)では笛と鉦に合わせて掛け声をあげ、手にした締太鼓を叩き、飛び跳ねる様は圧巻です。やがて、老若男女による盆唄(地唄)に合わせた「手踊り」の輪が広がり、夜の更けるのも忘れさせます。引き庭は入り庭同様、高張り提灯を先頭に肅々と下がるその様は見ると、奏でる者も感涙に咽びます。〓毎年、八月十三日はお寺で、十四日は初盆で行われます。〓

当日は、新城子供歌舞伎、大海の放下、高遠囃子(長野高遠町)、若杉太鼓(遠州林業高校)が上演され、「山鹿灯笼まつり」(熊本県山鹿市)の特別出演もあり、伝統芸能文化の競演に観客も酔いしれました。



ヤニー先生をお迎えして

三月十日(金)、連谷小学校では国際理解教育の一環としてヤニー先生をお迎えし、千枚田を中心にそれぞれが取り組んできた活動に「子供達が自分でコミュニケーションをとる」ことを目標に学習が行われました。(本年度三回目)

お天気なら千枚田を案内して行う予定でしたが、あいにくの雨模様

のため、ホールで行いました。

午前中は、千枚田の稲作や自然、歴史など、写真や絵、図表などを交えて発表。また、千枚田や連谷にかかわる題材で絵手紙づくり、昼食は郷土自慢の五平餅を焼き、ヤニー先生をビックリさせました。午後は絵手紙のプレゼント&ヤニー先生の読み聞かせなどが行われました。

子供達が自ら取り組んできた活動を英語と「カタコト」で発表、ヤニー先生の質問に手振り身振りで応答するなど、ほほえましいコミュニケーションがみられました。



表彰状

鞍掛山麓千枚田保存会殿
あなた方は安全、良質な農林水産物の確保や農林水産業に対する理解促進等の活動を通じて食と緑を支える県民の豊かな暮らしづくりに寄与されその功績は大でありますので表彰します

平成十八年一月二十八日
愛知県知事 神田真秋

愛知県知事表彰

名古屋地理学会巡検

三月二十四日(金)、今回の巡検(約三十名)はこれまでほとんど訪問していなかった奥三河において自然・産業・環境問題など、地理学が扱う領域を現地で幅広く学ぶことを目的に行われます。その目的地の一つとして四谷の千枚田を巡検、棚田の現状や環境、棚田の保存の努力について小山舜二が案内します。

行 平成十八年三月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二